



9月号

令和3年9月1日  
横浜市立東中田小学校  
校長 天野 直美

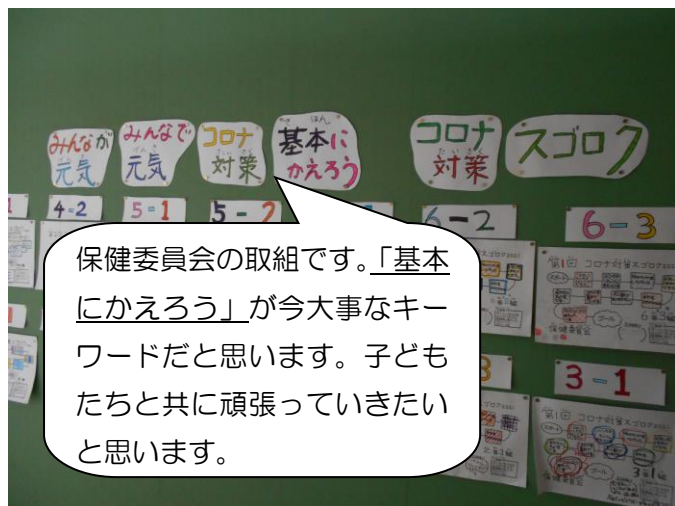
TEL.802-0500 FAX.801-4089

WEBページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/higashinakada/>

## 「まだまだ」という気持ち

校長 天野 直美

臨時休業を挟んでの長い夏休みが明けました。登校してきた子どもたちには笑顔が見られました。これも保護者の皆様のおかげです。ご家庭で子どもたちの健康や安全を守っていただき、心より感謝いたします。今後まだまだ注意が必要な状況が続くと予想されますが、全体の安全と感染拡大阻止に向け、引き続きご協力をお願いいたします。9月に予定しておりました6年生の修学旅行は12月16日～17日に予定を延期しました。横浜だけではなく、日光のある栃木県もふくめ厳しい状況となり、教職員が下見に行けない状況となるのではと、8月初旬に予測して早々に延期を決断し、6年生の保護者の皆様にはメールでお知らせした次第です。4年生は愛川体験学習を7月に日帰りで実施いたしました。体験活動が縮小されたことで、



保健委員会の取組です。「基本にかえろう」が今大事なキーワードだと思います。子どもたちと共に頑張っていきたいと思っています。

子どもたちや先生方の残念な心持ちは否めないと思います。しかしニュースで流れてくる状況を知るにつけ、新型コロナウイルス変異株の恐ろしさを感じずにはられません。学校では、これまで地道に行ってきた行事の見直しと感染対策をこれまで以上にしっかりとやり通して、教育活動をすすめます。また集団感染につなげないために、ご家庭との連携・連絡の強化を図っていきたいと思います。GIGAスクール体制が進み、本校でも大分リモートでの授業や会議、健康観察を行うことができる環境が整ってまいりました。今後保護者の皆様のご協力を仰ぎながら、確実に活用できる環境を目指して、さらに整備を行ってまい

りたいと思います。

先日、日本テレビで放映された24時間テレビのなかで、TOKIOのリーダー城島さんが福島県浪江町にあるDASH村を10年ぶりに訪問した様子が紹介されていました。防護服を身に付け、2時間だけ滞在を許可されたそうです。10年前の3月11日の東日本大震災発災時、城島さんたちはDASH村にいてロケを行っており、その時の様子も放映されました。城島さんは、地域の方々の力を借りながら自分たちの力で開墾し、古民家を移築し、農作業や日本の伝統文化を学んだ思い出多いDASH村にやっと入ることができた喜びと、帰還困難区域になり土地を放置せざるを得ない悲しみ、そしてDASH村でお世話になった三瓶明雄さんのことを語りました。城島さんが農作業等で三瓶さんに指導を受けて様々な事に取り組んだ後に、「これで大丈夫だね。」という三瓶さんは必ず「まだまだ。これからだ。」と言い返し、常に気を抜かず注意深く状況を見つめて対応していくことが大切であることを助言してくださったそうです。その後も「まだまだ」という言葉を胸に刻みながら、あきらめず苦境を乗り越えてきたのだそうです。今私たちが直面しているコロナウィルスとの戦いも先が見えません。「まだまだ」という言葉は辛いけれど今の私たちの気持ちを支えてくれる力強い言葉だと思いました。